

# インマヌエル中目黒キリスト教会 2016年8月28日聖日礼拝

---

「愛、I・You 関係」  
ヨハネの手紙第1  
4章7節～5章12節

河村従彦牧師

# 聖書朗読 新約聖書

## ヨハネの手紙第 1 4 章 7 節 ~ 5 章 12 節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
( ©新日本聖書刊行会 ) を使用しています  
第二版の聖書は 430 ページ  
第三版の聖書は 469 ページ

- 7 愛する者たち。私たちは、互いに愛し合  
いましょう。愛は神から出ているのです。  
愛のある者はみな神から生まれ、神を  
知っています。
- 8 愛のない者に、神はわかりません。なぜ  
なら神は愛だからです。
- 9 神はそのひとり子を世に遣わし、その方  
によって私たちに、いのちを得させてく  
ださいました。ここに、神の愛が私たち  
に示されたのです。
- 10 私たちが神を愛したのではなく、神が  
私たちを愛し、私たちの罪のために、

なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

- 1 1 愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた互いに愛し合うべきです。
- 1 2 いまだかつて、だれも神を見た者はありません。もし私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにおられ、神の愛が私たちのうちに全うされるのです。
- 1 3 神は私たちに御霊を与えてくださいました。それによって、私たちが神のうちにおり、神も私たちのうちにおられるこ

とがわかります。

14 私たちは、御父が御子を世の救い主として遣わされたのを見て、今そのあかしをしています。

15 だれでも、イエスを神の御子と告白するなら、神はその人のうちにおられ、その人も神のうちにあります。

16 私たちは、私たちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛のうちにいる者は神のうちにおり、神もその人のうちにおられます。

17 このことによって、愛が私たちにおいても完全なものとなりました。それは私たちが、さばきの日にも大胆さを持つことができるためです。なぜなら、私たちもこの世にあってキリストと同じような者であるからです。

18 愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。なぜなら恐れには刑罰が伴っているからです。恐れる者の愛は、全きものとなっていないのです。

19 私たちは愛しています。神がまず私たちを愛してくださったからです。

20 神を愛すると言いながら兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません。

21 神を愛する者は、兄弟をも愛すべきです。私たちはこの命令をキリストから受けています。

## 【第5章】

- 1 イエスがキリストであると信じる者はだれでも、神によって生まれたのです。生んでくださった方を愛する者はだれでも、その方によって生まれた者をも愛します。
- 2 私たちが神を愛してその命令を守るなら、そのことによって、私たちが神の子どもたちを愛していることがわかります。
- 3 神を愛するとは、神の命令を守ることです。その命令は重荷とはなりません。



- 4 なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。
- 5 世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。
- 6 このイエス・キリストは、水と血とによって来られた方です。ただ水によってだけでなく、水と血とによって来られたのです。そして、あかしをする方は御霊です。御霊は真理だからです。
- 7 あかしするものが三つあります。

- 8 御霊と水と血です。この三つが一つとなるのです。
- 9 もし、私たちが人間のあかしを受け入れるなら、神のあかしはそれにまさるものです。御子についてあかしされたことが神のあかしだからです。
- 10 神の御子を信じる者は、このあかしを自分の心の中に持っています。神を信じない者は、神を偽り者とするのです。神が御子についてあかしされたことを信じないからです。

1 1 そのあかしとは、神が私たちに永遠のいのちを与えられたということ、そしてこのいのちが御子のうちにあるということです。

1 2 御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者はいのちを持っていません。

# 説教

「愛、I・You 関係」

ヨハネの手紙第 1

4章7節 ~ 5章12節

河村従彦牧師

## A.焦点となるみことば

4:16 神は愛です

5:3 その命令は重荷とはなりません

## B.当時の社会的・宗教的背景 ～ グノーシス

物質の世界は悪、精神の世界は善、二元論  
精神の世界に宿る神がこの世には関与され  
ない

キリスト教のメッセージとなじまない

- (1)宇宙・世界・わたしを造られた創造主
- (2)世・人を愛し、人の人生に関わりを  
持とうとされる愛の神さま

# . 愛について考える

## A:いくつかの定義の試み

- 1.好きになること
- 2.相手の幸福を願うこと
- 3.祈ってあげられること
- 4.嫌いだけと、排除しないこと
- 5.愛そうという意志  
など

# . 愛について考える

B:愛という拘束 4:20 ~ 21

1.神を愛することと人を愛すること

2.ヨハネ文書のテーマ

~ 目に見えるものと目に見えないもの  
なぜこんなに「条件的な」言い方になっただのか？

→ グノーシスの考え方への  
アンチ・テーゼ

3.愛は神さまから



# ・ 愛について考える

C:神さまが与えてくださる祝福の世界を描く

愛 4:10

御霊 4:13

永遠のいのち 5:11

# . 愛について考える

## D:恵みの世界

~ 神さまが「やってくださる」世界

1. 方向性が「神さま→わたし」

2. 愛が完全にされる恵みの世界

「あなたの愛が完全でありなさい」ではなく.....

# ・愛について考える

E:その世界に生きる前提 ~ 神のかたち

- ・被造物という意味では、絶対他者
- ・人格性という意味では、対等
  - ・わたしたちが神さまのしもべになることを喜ばれない
  - ・隷属することを喜ばれない
  - ・訳もわからないのに、言いなりになることを喜ばれない
- ・Yes、Noを言う権利が人間にはある

# .愛について考える

## F:愛と義のバランス

- 1.愛は、人格関係である
- 2.愛は、罪をまったく指摘しない？
- 3.義を強調したくなる心理的ダイナミズム

# 愛、重荷にならない世界 ～ I・You関係に生きる

A:始まり

神さまがわたしを愛してくださる

B:内容

対象を「You」として見る

神さまが私を「It」ではなく「You」として見ておられる

# 愛、重荷にならない世界

## ～ I・You関係に生きる

C:欠如 ～ 対象を「It」として見る

1. I・You関係が崩れるとき
2. 自分が「モノ」としてしか見られていないと感じるとき
3. 自分が対象を「モノ」としてしか見られないとき
4. 教会生活・奉仕について考える  
ご一緒する方々を「You」と見ることが  
できる限りにおいて.....

# 愛、重荷にならない世界 ～ I・You関係に生きる

D:表れ ～ 信じること

1. 信じること = 肯定すること 1:10
2. 自分を正しいとしやすい習性
3. 次の時代に伝えるべきメッセージ
4. 神さまがわたしたちを信じてくださる  
「You」として見ていてくださる

しめくり:

- ・ 知り、信じています  
→ 過去も、将来も
- ・ 神は愛、これで全部